

○ 本校の概要

本校は、千葉県館山市に位置する全寄宿舎制の区立病弱特別支援学校である。区内小学校3年生から6年生までの児童が家庭を離れ、ぜん息、肥満、偏食、病虚弱の健康課題を克服するために、寄宿舎生活の下に生活・学習に取り組んでいる。教育課程は各教科の年間授業時数を含め通常校と同様であるが、特別支援学校であるために年間35時間の健康課題克服のための「自立活動」の時間が設定されている。児童の指導においては、学校と寄宿舎が連携の下に、少人数制の利点を活かして「学力の定着と向上」、集団生活の中で互いを認め合いながら自己肯定感や自信を培う生活指導の充実を目指している。今年度は特に他者との関わりを重視し、校内研究の主題を「人間関係を深め合う児童の育成～「話し合う」授業を通して～」とし、実践に取り組んでいる。また、本校の位置する地域は、学校設置者であり保護者が生活する大田区とは異なるという特殊な環境下にあるが、地元の小・中学校も含め、地域の方々には非常に協力的で、本校の教育にも理解を示していただいている。大項目である「地域と共に歩む学校づくり」を念頭に、学校が果たすべき役割を踏まえた上で、学校と地域、そして家庭間のいっそうの連携強化を実現していく。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組及び今後の改善策, 学校関係者記入欄 (評価人数, コメント). Rows include categories like 学力向上, 豊かな心を育む, 体力向上, 教育環境向上, 家庭・地域の教育力向上.

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。